



## 第2分科会

# 「今、子どもたちは」

## 教師の事情・親の事情

助言者 久米 宏樹（新座第5中学校教諭）  
渡辺真由美（片山小学校教諭）

司 会 岩鼻 学  
記 録 長谷川  
並木



### 話し合い

久米氏 中1担任、国語担当。

子どもたちは、友達関係作りが大変です。生徒指導では、子どもと子どもをつなぐ役目をしています。先日「ライン」（携帯、スマートフォン）のやり取りで、問題がありました。見えない所でのトラブルです。スマートフォンの使い方について（自身）が学び中です。

渡辺氏 6年生担任。今年度で定年退職になります。

子どもは、昔も今も本質的に変わっていないです。大人の都合で、3年前から学習内容が増えました。子どもたちは（学習を）「わかりたい」と思っているが、ゆっくりできないで進んでいきます。学校に行く意味は、「友達と関わりたい」「思いっきり遊びたい」「学びたい」「給食が楽しい」と子どもたちは思っています。嫌になってしまうと、そこから、ダメになってしまいます。子ども側には責任はありません。大人なのか…、国なのかもしれませんね。

**司会** お二人ともベテランの先生ですが、状況が変わると大変になっています。参加者の皆さんから、お名前とお子さんがいましたら学年など、先生にお聞きしたい事等どうぞ。

**参加者A** 孫が4月から1年生です。障がいを持っています。小学校入学を前にどのような状況かお聞きしたいです。例えば、アレルギーについて、いじめについて。

**久米氏** 中学校では除去食を行っています。家庭から状況を書いてもらっています。

**渡辺氏** 卵、小麦、乳製品など、ダメな子います。栄養士さん作成の献立表を元に保護者がその日の弁当を作り、給食室で保管し、給食時間に食べます。また、教師、栄養士、管理職がスタッフとして状況を聞き、わかりあえるようにしています。

**司会** 新聞報道などで（アレルギーについて）報道されている事が多いですが、新座市では、対応してくれていますね。保護者と学校が連絡を取り合う事が必要ですね。

**参加者B** 小学校の教員をしていました。若い先生が多くなってきていて、パソコンが堪能です。

新座市では、1時間の始まりに日直が「起立・礼」、終わりに「ありがとうございました」をします。形から入ることを教えてきています。

**参加者C** 小学校2年生の保護者です。学校、家庭…子どもの姿を家庭ではどのように接してあげればいいのか悩んでいます。

**参加者D** 小学校4年生、5歳児の保護者です。平日は学校行事に出られないので、学校の問題を知っていきたいと思っています。

**参加者E** 小学校4年生の保護者です。初めて参加した時からいい経験になり、参加しています。

女の子ならではの心理的な面、友達づきあいなどについてお聞きしたいです。

**参加者F** 5歳と2歳の保護者です。これから小学校に上がるので、学校でどんな問題が多いかをお聞きしたいです。(今のこどもたちは) ストレス抱えている様に思えます。

**参加者G** 学童保育の指導員です。学校の学習内容が難しくなっていると感じます。宿題に追われて、こなしていけないといけない状況になっています。計算にしても、説明より答えを聞きたがります。

**参加者H** 東松山在住です。たまたま、チラシをみたので、参加しました。長野県から引っ越しし、埼玉に来たばかりです。埼玉県受験についてお聞きしたいです。

**司会** これから預ける方々は、不安がありますね。受け入れる側は色々と状況が変わってきているので、大変があると思います。

**渡辺氏** 皆さんで一緒に考えていけたらいいと思っています。

規律については、埼玉県が「規律、体力、学力」をいってきています。靴箱では、かかとをそろえる、次時間の授業セットをそろえてから遊びに行く。小学校からやっておかないと、中学校で大変になると言われています。(小学校、中学校の連絡会議があります。) 学習面では、達成目標があります。平均点より、低い高い、を各学校で分析しなければなりません。そこに時間がかかります。国語のテストでは、説明文を読解させます。小学校時には物語文を読み、心情をとらえる所に文学のおもしろさがありますが、それがありません。このような意見をいっても少数派です。体力テストは毎年になりました。「今どの位の体力か」を調べるためにテストのための練習を行う先生もいます。教員はデータ分析に追われ、出勤時間が早まり、また帰宅時間が遅くなる。人間としての豊かな生活ができなくなっています。

**参加者G** 小学校の教室をのぞいた時に、壁に先生への言い方が貼ってありました。その通り言わないといけなかったのが、安易に「こう言ったら」と言えなくなりました。

また、昔は先生方がおしゃべりして仲良かったように思えますが、今はパソコンに向かっている状況が見られます。

**渡辺氏** 昔は教員同士「この子、こんなだよ…、どうしたらいいんだろう?」「この子、また休んでいるのよ…」「じゃあ、一緒に迎えにいこう」など話せていましたが、今はないですね。子どもと向き合う心がなくなってしまっています。

**参加者 I** 中3、高2の保護者です。

以前、新座3中が荒れていました。学校側から「子どもたちの様子を見に来て構いません」とオープンになり、行っていました。渡り廊下の屋根を渡る、樋を登る、「クソババア」などの言葉、など、わんぱくぞろいでした。先生方は、「教育委員会が来る日」となると、保護者そっちのけ。大変なんですね。

**参加者 J** 小学校の教員をしていました。最近は、随分ひどいことになってきていると感じています。

(教員を)定年まで続けるか、死ぬか…そのような選択になってしまった時、退職しました。

学校の様子が大変だとわかってくれば、保護者からの一方的な要求ではなく、わかりあえてきます。こういう部分だったら、力を合わせられるのかもしれませんが。先日、電車の優先席に高校生がゲームしながら座っていました。老人が目の前に来たら、スーッと、どきました。子ども達に丁寧にアプローチしていれば、子どもは、やる所ではやるのだと。大人がいい対応してあげれば、子どももよくなるのではないかと思います。

**司会** それでは、小学校とは違う視点で、小学校で詰め込まれて、中学校ではどのような状況かをお聞きします。

**久米氏** 教育、子育て、すぐに答えが出るものではないと思っています。親としても自分も悩みました。今の教育に税金掛けているから成果を出せと言ってきます。全部の子ども達に悪影響です。成果はテストでどれくらいとっているか、という形になっています。子育てしている人たちも何が大切なのか、悩んでしまいうだろう。中学校では、単科なので、その都度挨拶をします。出来ないと小学校でやっていないからということになります。小中連携(会議)で、「統一しよう」という話がよくあります。教育状況調査、三達(三つの達成)では、結果を出さないといけないから「やらせる」ことになってしまいます。結果を求めすぎていると思います。中学校では、自立をしていくために子ども達がどの様に育っていくか…。

**渡辺氏** 先日、ある中学校の先生とお会いして聞いた話ですが、中学生が移動教室の際、並んで移動していると言うんです。その様子がおかしいと先生は感じ

ていますが、これが『小中連携』なんです。それをまた徹底してやる。もちろん『管理する』という観点からは、やりやすいのですが、これで一体子どもたちの何を育てたいのかと疑問に感じます。

**参加者A** 今のお話を伺って、自分の子どもの中学時代は大変学校が荒れている時代でした。親が毎時間学校に行って様子をみないといけないといった状態で、子どもたちが好き勝手にやっていた。『規律』を重んじる今のやり方は、そんな時代があつての事ではないかと私は思います。自由を履き違える子が出るので、規律は大事だと思います。また、いじめも自分の子どもがあつていましたが、学校に言っても「いじめはない」「いじめられる方にも問題がある」とまで言われました。

**参加者G** 先日学童に帰ってきた小1の女の子が泣いて帰ってきたので話を聞きました。音楽室から教室に帰る際に列からはみ出たために、クラスのお友達から責め立てられたとのことでした。程度の問題だと思います。あまり管理も徹底しすぎると外れた子は『ダメな子』『やっつけてもいい存在』になってしまい、いじめ問題につながっていくのではないのでしょうか？

**参加者J** 管理の仕方にしても、本来は先生と生徒で話し合つて決まりやルールを作っていくのがいいと思います。やはり決まりやルールがないと子どもたちが好き勝手にやっつけてしまいます。しかし、上からただ言うのではなく、やはり生徒に返してやる事が重要だと思います。

**司会** そういった先生と生徒たちとの話し合いの場を持つことはできるんですか？

**渡辺氏** やるべきだと思います。3.11の原発事故以来『何かを感じる子』。そうでないと自立した大人になれないと思っています。なぜルールが必要なのかを話し合いをさせて納得して動く。中には納得しない子もいます。それはやっつけていく中で落としていく。障害のあるお子さんはなかなか難しい場合もありますが、そういった子も含めてのルールであるって事を周りも理解する。そのためには話し合いは必要だと思います。またいじめ問題ですが、子どもたちはサインを出しません。サインを感じたら私はその子と向き合い、「恥ずかしい事ではない」「吐き出していいんだよ」と言います。親も教員もしっかり子どもの気持ちを受け止める。そこが『根幹』だと思っています。保護者は学校に入り込んで教員と関係性を作つて行って欲しいと思っています。

**参加者F** 先生方が家庭に望む事、お願いしたいことはありますか？また、学童

の指導員をしているのですが、最初の方に学童での宿題の話がでましたが、先生方は、宿題は親御さんとやってほしいと思いますか？

**渡辺氏** 産まれた瞬間からやっぱり顔を見て、スマホやったり携帯しながら母乳をあげるではなく、しっかり向き合ってほしい。どんなに忙しくても1日にそういう時間を作る。そうしないとやはり人間って育たないと思います。ただ、宿題の件ですが、親御さんが宿題と一緒にやってイライラするようであれば、悪循環になる場合もあるので、一概に宿題は家でとは言えないですね。

**参加者H** 家庭の事情で親御さんが勉強をみることができない等、手をかけてもらえずお金をかけてもらえないお子さんもいると思いますが、その辺についてはどうですか？格差と言いますか・・・。

**久米氏** 増えていると感じます。クラスでも4～5人程でしょうか。また成績格差もひらいていると感じます。

**司会** 今回の話し合いから行政に対して市への要望と助言者と保護者との申し合わせ事項を考えていきたいのですが、いかがでしょうか？

**参加者B** 元教員の立場から30人学級ですね。土曜日授業はどうでしょうか？昨年度は8回、今年度は6回で開校記念日がなくなりましたが・・・。

**久米氏** 土曜日授業に関しては、要望としてはあります。保護者と一致した要望としては、やはり30人学級でしょうか。私たちはもうちょっと控えめで35人学級と言っています。

**参加者E** 臨時採用教員を廃止して、正規採用教員を増やしていただきたいです。

**参加者D** 学童保育の狭隘化対策として、今年も保育施設の増設もぜひ取り上げていただきたいです。

**司会** 今日のこの会について私から感想を述べさせていただきます。お話を伺って、子どもにしっかり愛情をそそいで、かけがえのない子どもの目をしっかりみて話をし、何か問題があった時には先生と保護者と早期解決に向けて話しをし、協力することが大事だなと感じました。

**参加者C** 渡辺先生からの紹介で伺いました。やはり母親同士、言いにくい事も

あります。でもこういう場は一人で参加できますし、知らない人同士ですがいろいろなお話が聞けてよかったです。学校や先生を通して、もう少し宣伝してもいいのではないのでしょうか？またこういう場が増えたらいいと思いました。

**司会** 地域コミュニティーの問題になってくるかと思います。核家族化が増えて、ご近所の方とお話することも減ってきています。今後の我々の問題事項として、申し合わせに入りたいと思います。それではお時間となりましたので、助言者のお二人の先生に総括をお願いしたいと思います。

**久米氏** 以前は『語る会』として新座でもありまして、私も参加した事がありました。やはりこういう話し合いの場は必要なんですね。懇談会にも保護者の方々がなかなか参加しなくなってきています。問題をかかえていても話せなくて孤立化している。また、教員も同じで「授業が上手くいかない」など。でも話す時間や場がない。『つながる』場が必要だと感じました。

**渡辺氏** 私はこの職業を選んでよかったと思っています。子ども大好き。子どものキラキラ輝いた目、泣いた顔、怒った顔、殴られた、いろいろありました。でも、それが丸ごと子どもだと思えます。その中に希望が詰まっている。それを教えてくれたのが子どもであり、そんな子どもを見ていると人間らしい社会になっていくだろうと感じるんです。だからといって傍観者ではいけないんです。自分も中に入らないといけない、という中でやってきた事をよかったと思っています。最後に、司会の教え子の岩鼻さんという場でまた出会えたこと、やっぱり繋がっているんだなあって事。ここを掘り起こして、輪を広げていきたいと感じます。私は教員を退職しますが、地域でお母さんたちと手をつないで頑張ってやっていきたいと改めて感じました。

#### 申し合わせ事項

- ・ 地域コミュニティーの活性化
- ・ 母親大会を周りの人たちに伝えていく事

#### 市への要望事項

- ・ 全学年1クラス30人から35人学級を導入
- ・ 臨時採用教員を廃止し、正規採用職員を増員
- ・ 学童保育室の狭隘化対策と保育室の増設